

## 文化会館等あり方検討の状況について

## 1 文化会館等あり方検討の進め方について

文化会館及び中央公民館の整備に当たり、市民の立場から幅広く必要な意見をいただき、文化会館のあり方について方向性を検討していくために日光市文化会館等あり方検討市民委員会を設置。各回のテーマに関して意見をいただき、以下の流れに基づいて進めていく。

【各回における検討の流れ ※毎回繰返し】

- ①市民委員会により意見聴取 → ②市の案の作成 → ③市議会と調整 →  
④市で方向性を提示 → ⑤市民に広く周知し意見聴取 → ⑥市民委員会で結果等を報告

## 2 第1回市民委員会（令和4年7月25日開催）における主な意見について

◎ 上記の委員会の進め方について説明した上での各市民委員からの意見

- ・日光及び藤原地域については、検討専門部会を設置し、各地域の会館施設のあり方について協議してきたが、今市地域ではそれがなされていない。今市地域の住民の意見も確認した上で全体を協議していくべきなのではないか。
- ・道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣のような400席程度のホールをもった施設もあるため、新たな文化会館を建設する際は、他の施設との差別化が重要ではないか。
- ・近年の資材価格の値上げや法改正による労務費の増大など、想定を上回るような費用が発生する可能性がある。

## 3 第1回市民委員会における意見への対応について

◎ 第1回市民委員会の結果を踏まえ課題を整理した上での各関係団体からの意見

## ① 今市文化会館に対する今市地域の住民意見の確認について

- ・今市地域の自治会長、特別委員会での協議により、今市地域の文化会館の方向性については、市民委員会にゆだねることで了承を得た。なお、新文化会館を建設となった場合の建設候補地は、前提として今市地域に限定しないと説明。

## ② 各関係団体への説明について

- ・施設整備に否定的な意見はなく、整備に当たっては、迅速性を重視しつつも留意すべきなど、多数のご意見をいただいた。

【説明を行った関係団体等】

- ・今市地域各地区自治会長会会長（令和4年8月8日開催）
- ・文化会館運営審議会（令和4年8月19日開催）

#### 4 第2回市民委員会（令和4年9月29日開催）における主な意見について

以下の理由に基づき、新文化会館の建設は市として必要と捉えていることを説明。

- ・日光市の文化振興の一翼を担う施設として、文化会館は、今後も必要となる施設。
- ・現在の今市文化会館の老朽化の度合いを考慮すると、今市文化会館を大規模修繕して使用するより 建替えた方が、メリットが大きいと考えられる。
- ・機能面において、道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣 多目的ホールでは、今市文化会館の代替として不十分である。
- ・今までの関係団体や議会等における会議において、否定的な意見がなかった。

#### ◎ 上記の市の考えを踏まえた市民委員からの意見

- ・委員から複数整備することを検討すべき
  - ➡市としては、財政視点から複数整備は考えていないことを示した
- ・新文化会館の建設については否定的な意見はなかった



文化会館を1か所に集約することを前提に新文化会館の建設は必要ということで、市民委員会での合意形成が図られた。

#### 5 市民委員会開催結果を踏まえた特別委員会での協議について

市民委員会の結果を踏まえ、市としては新文化会館を建設したいとした上で、公共施設等あり方検討調査特別委員会と協議を行った（令和4年8月19日、10月27日開催）。

特別委員会においても新文化会館の建設について合意形成が図られた。



日光市議会議員全員協議会へ報告（令和4年11月8日開催）